



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社平和
 コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 85,057 | △9.2 | 21,752 | 1.9 | 21,317 | △13.3 | 12,578 | △25.3 |
| 25年3月期第2四半期 | 93,703 | 109.3 | 21,346 | 40.4 | 24,585 | 22.4 | 16,835 | 24.5 |

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 13,920百万円 (△20.4%) 25年3月期第2四半期 17,496百万円 (30.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 146.90 | 146.56 |
| 25年3月期第2四半期 | 197.11 | 196.69 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 422,362 | 151,821 | 32.7 | 1,613.45 |
| 25年3月期 | 417,057 | 141,182 | 30.8 | 1,501.31 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 138,206百万円 25年3月期 128,467百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 30.00 | — | 40.00 | 70.00 |
| 26年3月期 | — | 30.00 | — | — | — |
| 26年3月期(予想) | — | — | — | 30.00 | 60.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|-------|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 182,400 | 3.0 | 33,900 | △1.6 | 31,700 | △10.9 | 19,000 | △5.6 | 222.04 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料4頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年3月期2Q | 99,809,060株 | 25年3月期 | 99,809,060株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 14,149,692株 | 25年3月期 | 14,238,692株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年3月期2Q | 85,625,693株 | 25年3月期2Q | 85,411,551株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（第2四半期決算説明会）

当社は、平成25年11月15日（金）に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、当四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 7 |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策への期待を背景とした円安・株価上昇が進み、企業収益が改善に向かうなど、景気は回復基調で推移いたしました。

遊技機業界におきましては、遊技参加人口の減少や低貸玉営業の普及による顧客単価の落ち込みなどにより、パチンコホールの経営環境は依然として厳しい状況が続いております。そのため、パチンコホールは遊技機の新台購入に慎重な姿勢を強めており、話題性の高い一部の有力機種に需要が集中する傾向にあります。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ場来場者数は東日本大震災前の水準に順調に回復しつつあるものの、厳しい猛暑及び度重なる台風による影響、並びに、他社との競争による顧客単価の下落傾向が続く厳しい経営環境となりました。

このような環境下、遊技機事業におきましては、ヒット機種の開発とブランド力の向上を図るために、市場のトレンド分析をいち早く遊技機開発に反映するための体制作りや新規性のあるアイデアを搭載した遊技機の開発、訴求力のある新規コンテンツの利用拡大や既存コンテンツの強化に向けた取り組みを推進いたしました。

ゴルフ事業におきましては、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を目的に、新たなポイントプログラムの導入や、コールセンターの開設等の取り組みを進めました。また、子会社のPGMホールディングス(株)として、平成26年12月期を初年度とする3カ年の中期経営計画を策定し、「新規M&A」、「収益の極大化」、「会員満足度の向上」の3つの基本戦略のもと、更なる業績向上を目指してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高85,057百万円(前年同期比9.2%減)、営業利益21,752百万円(前年同期比1.9%増)、経常利益21,317百万円(前年同期比13.3%減)、四半期純利益12,578百万円(前年同期比25.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきまして、パチンコ機は「戦国乙女3 乱」、「綱取物語 咲かせろ!大金星の花ッ!」、「ラブ嬢プラス」等を発売し、販売台数78千台(前年同期比60千台減)となりました。パチスロ機は「キャッツ・アイ コレクション奪還作戦」、「戦国乙女 剣戟に舞う白き剣聖」の発売に加え、前第4四半期に発売した「アントニオ猪木が伝説にするパチスロ機」の販売の一部が当期に計上されたことにより、販売台数62千台(前年同期比38千台増)となりました。

なお、当期におきましては、パチンコ機、パチスロ機ともに主力タイトルの販売を第3四半期以降に計画しております。

以上の結果、売上高44,108百万円(前年同期比15.6%減)、営業利益15,591百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、平成25年4月より「Tポイント」を当社グループのゴルフ場の新たなポイントプログラムとして導入いたしました。さらに、同年5月より、ゴルフ場のプレー電話予約を1カ所に集約させる予約センター機能の導入を開始し、全国57カ所のグループゴルフ場へ展開を進めるなど、お客様の利便性と満足度向上に尽力いたしました。また、上記中期経営計画における成長戦略の一環として、新たに3カ所のゴルフ場を取得し平成25年10月1日より運営を開始いたしました。

以上の結果、売上高39,605百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益7,425百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

(その他)

その他の事業として、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行い、売上高1,343百万円(前年同期比6.5%減)、営業利益95百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は142,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,130百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が14,544百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が5,877百万円、有価証券が3,730百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は280,246百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,174百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2,886百万円増加したこと、投資有価証券が1,482百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、422,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,304百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は60,601百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,626百万円減少いたしました。これは主に1年内償還予定の社債が7,984百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は209,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,291百万円増加いたしました。これは主に社債が8,000百万円増加したこと、長期借入金が5,689百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、270,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,334百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は151,821百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,639百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益12,578百万円及び剰余金の配当3,422百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.7%（前連結会計年度末は30.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 74,549 | 89,093 |
| 受取手形及び売掛金 | 20,119 | 14,242 |
| 有価証券 | 21,003 | 17,272 |
| 商品及び製品 | 3,469 | 2,887 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,673 | 4,478 |
| その他 | 14,653 | 14,648 |
| 貸倒引当金 | △483 | △506 |
| 流動資産合計 | 137,985 | 142,116 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 49,983 | 49,736 |
| 土地 | 184,363 | 184,013 |
| その他（純額） | 12,954 | 16,437 |
| 有形固定資産合計 | 247,300 | 250,187 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 4,253 | 4,362 |
| 投資有価証券 | 18,647 | 17,165 |
| その他 | 9,455 | 9,105 |
| 貸倒引当金 | △585 | △575 |
| 投資その他の資産合計 | 27,517 | 25,695 |
| 固定資産合計 | 279,071 | 280,246 |
| 資産合計 | 417,057 | 422,362 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,743 | 13,925 |
| 短期借入金 | 3,000 | 3,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 18,635 | 21,685 |
| 1年内償還予定の社債 | 7,984 | — |
| 未払法人税等 | 6,118 | 5,172 |
| 引当金 | 1,798 | 840 |
| その他 | 16,946 | 15,978 |
| 流動負債合計 | 69,227 | 60,601 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 8,000 |
| 長期借入金 | 142,611 | 136,922 |
| 退職給付引当金 | 4,954 | 4,943 |
| その他 | 59,081 | 60,072 |
| 固定負債合計 | 206,647 | 209,939 |
| 負債合計 | 275,875 | 270,540 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 16,755 | 16,755 |
| 資本剰余金 | 53,097 | 53,109 |
| 利益剰余金 | 72,379 | 81,535 |
| 自己株式 | △15,603 | △15,505 |
| 株主資本合計 | 126,628 | 135,893 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,797 | 2,183 |
| 繰延ヘッジ損益 | 41 | 130 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,838 | 2,313 |
| 新株予約権 | 108 | 80 |
| 少数株主持分 | 12,606 | 13,533 |
| 純資産合計 | 141,182 | 151,821 |
| 負債純資産合計 | 417,057 | 422,362 |

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 93,703 | 85,057 |
| 売上原価 | 57,989 | 47,981 |
| 売上総利益 | 35,713 | 37,076 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,367 | 15,323 |
| 営業利益 | 21,346 | 21,752 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 187 | 144 |
| 受取配当金 | 102 | 206 |
| 負ののれん償却額 | 4,301 | — |
| その他 | 347 | 529 |
| 営業外収益合計 | 4,937 | 880 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,213 | 1,037 |
| 投資事業組合運用損 | 114 | — |
| 減価償却費 | 40 | 36 |
| 支払手数料 | 115 | 117 |
| その他 | 214 | 123 |
| 営業外費用合計 | 1,698 | 1,315 |
| 経常利益 | 24,585 | 21,317 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 27 | 152 |
| 受取補償金 | 190 | 1,384 |
| 新株予約権戻入益 | 108 | 0 |
| その他 | 16 | 5 |
| 特別利益合計 | 342 | 1,542 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 11 | 51 |
| 投資有価証券評価損 | 0 | — |
| 減損損失 | — | 241 |
| 特別損失合計 | 11 | 292 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,916 | 22,567 |
| 法人税等 | 7,209 | 9,143 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 17,706 | 13,424 |
| 少数株主利益 | 871 | 845 |
| 四半期純利益 | 16,835 | 12,578 |
| 少数株主利益 | 871 | 845 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 17,706 | 13,424 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △195 | 385 |
| 繰延ヘッジ損益 | △14 | 109 |
| その他の包括利益合計 | △210 | 495 |
| 四半期包括利益 | 17,496 | 13,920 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 16,628 | 13,052 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 868 | 867 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|--------|------------|--------|
| | 遊技機事業 | ゴルフ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 52,264 | 40,002 | 92,267 | 1,436 | 93,703 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 78 | 78 | 19 | 97 |
| 計 | 52,264 | 40,080 | 92,345 | 1,455 | 93,801 |
| セグメント利益 | 15,571 | 7,542 | 23,114 | 105 | 23,219 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------------|--------|
| 報告セグメント計 | 23,114 |
| 「その他」の区分の利益 | 105 |
| セグメント間取引消去 | 1 |
| 全社費用(注) | △1,875 |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益 | 21,346 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|---------|--------|--------|------------|--------|
| | 遊技機事業 | ゴルフ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 44,108 | 39,605 | 83,714 | 1,343 | 85,057 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 15 | 15 | 15 | 31 |
| 計 | 44,108 | 39,620 | 83,729 | 1,359 | 85,088 |
| セグメント利益 | 15,591 | 7,425 | 23,017 | 95 | 23,112 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------------|--------|
| 報告セグメント計 | 23,017 |
| 「その他」の区分の利益 | 95 |
| セグメント間取引消去 | 0 |
| 全社費用(注) | △1,360 |
| 四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益 | 21,752 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、ゴルフ場資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生じたことに伴い、当該ゴルフ場資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、ゴルフ事業においては原則ゴルフ場別にグルーピングをしており、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において241百万円であります。